

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Woody放課後等デイサービス(単位1)					公表日 2026年 2月 17日
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	0	1階と2階の面積も含めると広さは十分あり、子どもたちが楽しく過ごせる様、2階を使用し活動をするなど配慮をしています。	法令に則った広さを確保しています。今後も子どもたちにとって過ごしやすい空間を作っています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	1	配置数が適切になるよう、勤務状況に合わせて、人員を配置しています。	適切な配置を行うようにしておりますが、体調不良者など、緊急時も考慮して人員配置を対応しています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	0		2階に行く時は職員が必ず付き添い。危険が無いように十分に注意を払って対応をしていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	日々の業務の中に掃除の時間を設け、常に清潔な環境を保持しています。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	0	静養室を設けており、静かに過ごしたい児童がいる場合などいつでも使用でき、また他にも個室を使用したい児童がいた場合は2階の図書室を使うなど配慮しています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	2	日頃の支援の振り返りをし、改善につながるよう、話し合いの場を設けています。	話し合いの際に不在の職員にも正確な情報が届くように、改善をしていきます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	定期的に実施して、業務改善に繋げていきます。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	日頃から話し合いの機会を設け、定期的に意見交換をしています。	風通しのいい環境にしていく為、今後も定期的に意見交換の場を設けていきます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	1	第三者による外部評価は行っていません。	現在は利用者と社内評価のみとなっていますが、今後、必要に応じて実施を検討していきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	0	積極的に研修を受ける機会を設けています。	今後も積極的に外部研修、内部研修の機会を設け、職員の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	0	児童一人ひとりの発達状況や特性、保護者の意向を踏まえ、個別支援計画に基づいた支援プログラムを作成しています。	支援プログラムの専門用語が多く、保護者にとって分かりにくい部分がある点が課題なので、今後はより分かりやすい表現への改善や定期的な見直しをしていきます。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2	0	利用に際し、子どもの状況・課題・保護者のニーズ等を把握し、それをもとに計画を作成していきます。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	0	計画する際には、支援に関わる職員全員で意見を交換する場を設けて検討をしています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	0		今後も職員間で意見交換をする場を設け、子どもの支援について職員の資質を向上させていきます。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	0		アセスメントは行っておりますが、特定のツールを使用しておりません。今後職員間で協議します。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	0	利用児童一人ひとりの発達段階や特性を踏まえ、健康・生活・運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション・人間関係・社会性の各領域に配慮した支援を行っています。	児童が自ら気持ちや体調を伝え、主体的に行動選択や対人関係の調整ができるよう、支援方法のさらなる工夫や家庭・関係機関との連携強化が今後の課題です。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	0	子どもたちが楽しいと感じ、その中で様々な体験が出来るように、職員で考え、活動プログラムを作成しています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	0	プログラムが固定化しないよう、様々な活動体験を取り入れ工夫しています。	今後も様々な活動を通じて、子どもたちが充実した放課後を過ごせる様、活動内容を工夫していきます。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	0	子どもの状況に応じた放課後等デイサービス計画を作成しています。		

支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	5	0	0	毎朝必ず打ち合わせを行い、情報共有をしてから支援を行っています。	当日の朝、職員で子どもたちの状況を必ず話し合い、必要な支援の内容・職員の役割分担を正確に把握してから支援に入る様にしています。
	21	3	2	0	その日の気づき等を職員で意見交換し、次の支援に繋げています。	送迎の関係で、その日の内に話し合えない時もあり、引継ぎ用の記録に記載するようにしています。
	22	2	3	0	業務日誌やケース記録に日々気づいた点や変化した状況を記録し、振り返りを行っています。	職員間の情報共有が出来ていない時もありますので、引継ぎ用の記録を必ず見るようになります。
	23	4	0	1	定期的にモニタリングを実施し、保護者と児童の現状を把握し、振り返りを行っています。	概ね6か月に1度、児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しを行っています。
	24	4	0	1	アセスメントをもとに、優先順位をつけて4つの基本活動を組み合わせて支援を行っています。	ガイドラインを見直す等、よりよい支援に繋げていきます。
	25	4	1	0	職員間で情報を共有して、状況に応じて対応しています。	子どもの意見を尊重し、定期的に職員間でも情報共有、意見交換をし支援に繋げていきます。
関係機関や保護者との連携	26	5	0	0	会議には必ず児童発達管理責任者が参加するようにしています。	児発管が参加出来ない場合もある為、その際は事前に打ち合わせを行い、日頃支援に入っている状況に精通した職員が代わりに参加するようにしています。
	27	2	3	0	障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行っています。	今後も連携を強化し、子どもの支援に繋げていきます。
	28	4	1	0	学校及び関係機関との連携強化を行って情報共有を行っています。	今後も連携を強化し、子どもの支援に繋げていきます。
	29	2	3	0	必要に応じて情報共有と相互理解をしています。	今後も連携を強化し、子どもの支援に繋げていきます。
	30	2	3	0	必要に応じて、通所中の支援内容等の情報提供し、スムーズに移行できる様に努めています。	今後も連携を強化し、子どもの支援に繋げていきます。
	31	4	1	0	助言をもとに、支援方法等の業務改善に繋げています。	必要な研修等には積極的に参加をし、職員の資質の向上に努めています。
	32	0	1	4		今後、必要に応じて交流する機会を設けていきます。
	33	3	2	0		今後、必要に応じて協議会等に参加を検討していきます。
	34	5	0	0	送迎時や、連絡ツールを使用し、その日の出来事や、気づきをお伝えするようにしています。	送迎時にお会い出来なかった時など、大切な事はお電話でお伝えすることもあり、また会議などでも詳しく伝えていきます。
	35	3	1	1	保護者会などで、外部講師に依頼し、実施をしています。	今後も定期的に取り組んでいきます。
保護者への説明等	36	4	1	0	契約時に丁寧に説明するよう心掛けています。	
	37	5	0	0	子どもには日頃会話を通して意見を聞き、保護者にはアセスメントを行い、意向を確認しています。	今後も概ね6か月に1回の期間でアセスメントを行い保護者の意向を確認して適切に対応していきます。
	38	4	1	0	個別支援計画の内容を丁寧に説明し、疑問点には適切に対応をしています。	今後も概ね6か月に1回の期間で個別支援計画を更新していきます。
	39	5	0	0	その都度、随時保護者とお話をしても悩み等に関して相談に適切に対応をしています。	適切な対応を心がけ、その後はすぐに職員間で情報共有をし、支援の方法にも取り入れていきます。
	40	5	0	0	保護者会を開催し、保護者同士の情報共有や連携出来る場を設けていきます。	今後も保護者同士が情報共有をする場、連携をとれる場を作る為、定期的に保護者会を開催していきます。
	41	5	0	0	苦情・申し入れについては迅速かつ適切に対応をしています。	苦情等があった場合は迅速に社内で共有し、改善に努めています。
	42	5	0	0	定期的にSNS等を更新し、日々の活動の記録を掲載しています。	今後も定期的に掲載していきます。連絡事項に関してはその都度保護者へ連絡するようにしていきます。

	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	0	個人情報が記載されている書類は鍵のかかるキャビネットに保管しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	職員間で情報を共有して、状況に応じて対応しています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	1		今後、状況に応じて対応していきます。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	0	各マニュアルを策定し、職員全員に周知できるようにしています。	保護者への周知に関しては、職員間で意見交換をし、情報の提供を図ります。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	0	業務継続計画の策定を行い、定期的に研修・訓練を行っています。	今度、定期的に改善をし、より精度の高い研修・訓練に取り組んでいきます。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0	事前に保護者から情報提供をもらい、職員間で情報共有を行っています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	0	保護者からの情報提供のみで、その情報を職員間で情報共有しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	0	未回答 1 計画に則って研修・訓練に取り組んでいます。 その後、子どもの支援に繋げています。	外部研修の受講や、社内研修を積極的に行い、職員の資質の向上を図り、子どもの支援に繋げています。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	0		今後、保護者にマニュアル等を使い周知するよう検討していきます。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	3	0	随時、ヒヤリハットの報告書を作成し、月1の職員会議で共有していきます。	今後も職員間の情報共有を徹底していき、業務改善していきます。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0	職員の研修・訓練を積極的に取り組み、適切な対応を努めています。	今後も積極的に外部の研修を受講し、社内の研修も行います。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	0	身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護する為緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行なうことを職員の共通認識にしています。	行った場合は記録に残し、保護者にはそれらを契約書に記載し、説明をしています。対象児童がある場合は組織的に決定し、支援計画に記載する体制があります。今後も継続していきます。